

システム変更等のお知らせ

(2000.11.1 - 2001.1.12 変更)

システム運用掛

1 ハードウェア ... なし

2 ソフトウェア ... 変更

2.1 V O S 3 / F S ; m-vos ... なし

2.2 H I - O S F / 1 - M J ; m-unix ... なし

2.3 H I - U X / M P P ; sr8000-s, sr8000-p ... 変更

最適化FORTRAN77	0 1 - 0 2 - / A (2000.11.30)
--------------	------------------------------

最適化FORTRAN90	0 1 - 0 2 - / A (2000.11.30)
--------------	------------------------------

- 実行時に出力するメッセージ及びトレースバックマップの出力先を指定する実行時オプション `port(msgout(stdout|stderr))` をサポートしました。
- 要素並列化されたプログラムにおいて、書式付き入出力文の書式変換を並列に行うかどうかを指定する実行時オプション `runst(mpfio[(0|1|nestcheck)])` をサポートしました。

最適化C	0 1 - 0 2 - / A (2000.11.30)
------	------------------------------

最適化C	0 1 - 0 2 - / B (2000.12.27)
------	------------------------------

アプリケーションプログラム開発環境	0 1 - 0 1 (2000.12.27)
-------------------	------------------------

2.4 H I - U X / M P P ; scalar-mpp ... なし

3 その他

3.1 SR8000 ファイルシステムの拡張について

2000年12月27日にSR8000 (sr8000-s, sr8000-p, sr8000-bt) において以下の各ファイルシステムのサイズを変更しました。

/home	128GB	256GB	
/short/sr8000-s	192GB	192GB	(変更なし)
/short/sr8000-p	192GB	224GB	
/short/sr8000-bt	192GB	256GB	

3.2 計算機の更新・撤去のお知らせ

- 新スーパーコンピューター (SR8000/MPP) の試験運用開始

スーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「システム変更等のお知らせ」でお知らせしています通り、2001年3月に新スーパーコンピューター (SR8000/MPP) を導入します。試験運用の開始は2001年4月2日を予定しており、現行のSR8000を引き継いだ運用体系を予定していません。詳細につきましては本誌別記事「新スーパーコンピューターSR8000/MPP 試験運用開始のお知らせ」を御覧下さい。なお、SR8000/MPP に関する詳細はスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「次期スーパーコンピューターシステム SR8000/MPP の特長」及び「SR2201 からSR8000/MPP への移行上の注意事項」を御覧下さい。

- 超並列型スーパーコンピューター (SR2201) のサービス終了

新スーパーコンピューター (SR8000/MPP) の導入に伴い、2001年2月28日をもって超並列型スーパーコンピューター (SR2201) のサービスを終了致します。詳細は本誌別記事「超並列型スーパーコンピューター SR2201 サービス終了のお知らせ」を御覧下さい。

- ベクトル並列型スーパーコンピューター (SR8000) の運用体系変更

ベクトル並列型スーパーコンピューター (SR8000) は利用者への提供形態を変更し、来年度から定額負担金方式によるサービスを開始します。(定額負担金方式につきましては本誌別記事「定額負担金『バルクコース』の

運用開始について」を御覧下さい。)これに伴い、現在、基本負担金方式にて SR8000 で御利用頂いていますホスト名、ログイン名による接続は来年度以降、新スーパーコンピューター (SR8000/MPP) となります。詳細は本誌別記事「新スーパーコンピューターSR8000/MPP 試験運用開始のお知らせ」を御覧下さい。なお、現行の基本負担金方式による SR8000 のサービスは 2001 年 2 月 24 日をもって終了致します。このとき、終了時刻までに実行が終了しないジョブ (実行待ちを含む) はキャンセルされます。また、/short、/para-io 等に置かれているファイルはサービス終了時に全て削除致しますので御了承下さい。

- 汎用大型計算機 (MP5800) 及び入出力機器のサービスについて

汎用大型計算機 (MP5800) は 2001 年 2 月 24 日をもってサービスを終了致します。この際、サービス終了時刻までに実行が終了しないジョブ (実行待ちを含む) はキャンセルされます。また、短期保存ファイル及び /short に置かれているファイル、出力待ちジョブにつきましてはサービス終了時に全て削除致しますので御了承下さい。なお、来年度以降、VOS3(m-vos) 及び HI-OSF/1-MJ(m-unix) のサービスは運用支援システムにより継続して御利用頂けます。ただし、磁気ディスク容量、入出力装置等の運用構成が縮小されるため、一部サービスを終了致しますので御了承下さい。現時点で予定しているサービス内容の変更は以下の通りです。

- サービス内容の変更

- データベースのサービス終了

- CASTOR のサービス終了につきましてはスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「CASTOR のサービス終了について」、XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB はスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.5(2000.9)「利用者提供データベース XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB のサービス終了について」を御覧下さい。

- プログラムライブラリーのサービスについて

- SAS、SPSS はサービス終了を予定していましたが、2002 年 3 月末までサービスを延長することとなりましたので、スーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「SAS、SPSS のサービス期間延長について」を御覧下さい。なお、その他サービスを終了するライブラリーにつきましては決定次第お知らせします。

磁気テープライブラリー（MTL）のサービス終了

磁気テープライブラリー（MTL）装置撤去のため、2001年2月24日をもってサービスを終了します。詳細は本誌別記事「磁気テープライブラリー（MTL）サービス終了のお知らせ（再掲）」を御覧ください。

- ユーザーフロア設置の入出力装置の変更

磁気テープ装置

磁気テープ装置のうち、カートリッジ型磁気テープ装置（200MB）のサービスを終了します。サービス終了後の200MBの磁気テープの読み出しにはカートリッジ型磁気テープ装置（800MB）を御利用下さい。なお、UNIXシステム系の磁気テープ装置 DAT、8mm、QIC につきましては機種更新を予定しています。

プリンター装置

プリンターは以下の機種更新を予定しています。高速カット紙プリンター装置（H-6286）及びカット紙プリンター装置（H-8174）、プロッタープリンター（XEROX4036、EP4020）がサービスを終了します。

変更前	変更後
H-8172（A4サイズ大、連続紙）	H-6274（A4サイズ大、連続紙）
H-8172（B4サイズ大、連続紙）	H-6274（B4サイズ大、連続紙）
H-8174（A4,A3,B5,B4,LET）	（撤去）
H-6286（A4専用；両面高速）	（撤去）
H-6284（A4,A3,B5,B4,LET；両面）	H-6284（A4,A3,B5,B4；両面）
（新規）	H-6284（A4,A3,B5,B4；両面）
XEROX4036（ロール紙；モノクロ）	（撤去）
SII EP4020（ロール紙；カラー）	（撤去）
LP7200-UX（PostScript；片面）	DDP70（PostScript；片面）
LP7200-UX（PostScript；両面）	DDP70（PostScript；両面）
PICTROGRAPHY3000（用紙）	PICTROGRAPHY4000（用紙またはOHP）
PICTROGRAPHY3000（OHP）	PICTROGRAPHY3000（用紙またはOHP）